

平成 22 年度推薦入学者選抜適正試験解答例

1 (解)

- (1) (ア), (イ), (エ)
(2) $\frac{-7x + 5y}{6}$
(3) $a = -4$
(4) $\pi ab + \pi a^2 [= \pi a(a + b)]$ (cm²)
(5) 35 (本)

2 (解)

- (1) 1 とその数自身の他に約数がない自然数
(それより小さい自然数の積で表せない自然数)
- 6 は 1 と 6 以外に 2 (または 3) を約数に持つので素数ではない.
($6 = 2 \times 3$ より 6 より小さい自然数の積で表せる.)
- (2) $\triangle DEF$ を $\angle F = 90^\circ$, $EF = a$, $DF = b$ の直角三角形とする. このとき, 三平方の定理より

$$DE^2 = a^2 + b^2 \quad \dots (1)$$

が成り立つ.

一方, 仮定より,

$$c^2 = a^2 + b^2 \quad \dots (2)$$

が成り立つ.

(1), (2) より

$$DE^2 = c^2, \quad DE = c$$

が成り立つ.

したがって, 三辺の長さが等しいので,

$$\triangle DEF \equiv \triangle ABC$$

である. 特に, $\angle C = \angle F$ で, $\angle C = 90^\circ$ である.

3 (解)

- (1) まず, ちょうど 3 けたの自然数で, 各けたの数字の和が 9 になっている数の個数を求める.
- 3 桁の自然数の 100 の位を a , 10 の位を b , 1 の位を c とおく. このとき

$$a + b + c = 9$$

となる整数 a, b, c で

$$1 \leq a \leq 9, \quad 0 \leq b \leq 9, \quad 0 \leq c \leq 9$$

となる組の個数を調べる.

$a = 1$ のとき, $b + c = 8$ をみたす (b, c) は

$$(0, 8), (1, 7), (2, 6), (3, 5), (4, 4), (5, 3), (6, 2), (7, 1), (8, 0)$$

の 9 通り.

$a = 2$ のとき, $b + c = 7$ をみたす (b, c) は

$$(0, 7), (1, 6), (2, 5), (3, 4), (4, 3), (5, 2), (6, 1), (7, 0)$$

の 8 通り.

同様にして, $a = 3$ のとき 7 通り, $a = 4$ のとき 6 通り, $a = 5$ のとき 5 通り, $a = 6$ のとき 4 通り, $a = 7$ のとき 3 通り, $a = 8$ のとき 2 通り, $a = 9$ のとき 1 通りある.

以上より, ちょうど 3 けたの自然数で, 3 けたの和が 9 になっている数は

$$9 + 8 + 7 + 6 + 5 + 4 + 3 + 2 + 1 = 45(\text{個})$$

であることがわかる.

よって, ちょうど 3 けたの自然数は全部で 100 から 999 までの 900 個あるから, 各けたの数字の和が 9 になっていないものは

$$900 - 45 = 855(\text{個})$$

である.

(2) 各けたの和が 9 になっている自然数で 1 から 99 までのものは

$$9, 18, 27, 36, 45, 54, 63, 72, 81, 90$$

の 10 個である.

(1) の考察と合わせて, 1 から 199 までの自然数で各けたの数字の和が 9 になっているものの個数は

$$10 + 9 = 19(\text{個})$$

である. よって, 1 から 199 までの自然数で各けたの数字の和が 9 になっていないものの個数は

$$199 - 19 = 180(\text{個})$$

である.

ゆえに, 200 から数えて 20 番目が求める数である.

(1) にある $a = 2$ (100 の位が 2) のときから, 207, 216 以外を順に数えて 200 番目は

$$221$$

である.